



定例会のあらまし

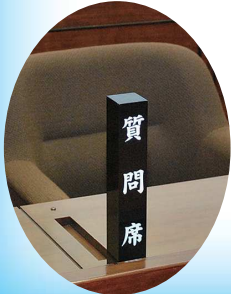
平成27年6月(第2回)定例会を、6月8日から26日までの19日間にわたり開催しました。今期定例会において、専決処分等13議案が提案され、12議案については、全会一致で承認、可決し、平成26年度赤穂市一般会計予算の繰越しについての1議案については、賛成多数で可決しました。請願と意見書それぞれ1件の審査については、全会一致で採択、可決となりました。また安保関連法案(戦争法案)のすみやかな廃案を求める意見書の提出を求める陳情については、総務文教委員会協議会で審査を行い、賛成多数で継続審査となりました。

なお、重松英二議員後任の兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員については、指名推薦の結果、児嶋副市長を選任しました。

市政の課題 将来の展望を

質す

ただ
6月25日(7名)、26日(4名)に計11名が登壇し、市政の課題や将来展望に対する考え方について一般質問を行いました。



母子感染防止のための 妊婦歯科検診助成について

釣 昭彦 議員



問

母親の口の中が清潔で虫歯がなければ、虫歯菌は赤ちゃんに感染しにくい。子どもの虫歯予防には子どものケアだけでなく、養育者の口のケアも大切である。また、妊婦歯科検診を推進することにより、子どもの虫歯抑制や治療費等の抑制、国保の抑制になると考えるので、妊婦歯科検診助成をすべきと考えるがどうか。

答

妊婦歯科検診については、妊婦の口腔衛生状態を良好に保つことが安全な出産につながる。また、出産後は乳幼児への感染を防止し、虫歯予防への啓発効果も期待できることから、現在、来年度からの実施に向け、助成のあり方も含め検討を進めているところである。

その他の質問事項

● 昭和56年6月1日以降に建設された建築物の簡易耐震診断について 他

将来を見据えた 給食センター建設の 考え方について

土遠孝昌 議員



問

給食センターは、市内の園児・小中学生に安全・安心な食事を提供し、皆さんの成長の一端を担っている。給食センターは建設より45年が経過している。平成11年から3か年を掛けてセンターの大規模改修工事を行ったが、改修から15年が経過しようとしている。将来の給食センターの建設についての考え方は。

答

大規模改修後も、子ども達に安全・安心で美味しい給食の提供に努めているところであるが、相当年数が経過しているため、将来的には更新せざるを得ないものと考えている。

所管課において、センター建設に係る施設・設備等の調査・研究を実施しており、今後とも施設の状態を把握し、学校給食衛生管理基準に沿った適切な維持管理を行い、市の財政事情等を考慮しながら、その時期や内容を検討したい。

● その他の質問事項
● 公用車のドライブレコーダー設置の考え方について

